

平塚市公共施設白書

(施設抜粋)

ア 青少年会館・勤労会館・教育会館

イ 図書館

ウ 公民館

◎平塚市公共施設白書について

- 施設に関する延床面積等については、本白書は特に記述の無い場合は、原則として平成25年4月1日現在を基準日とした面積を記述しています。
- 本白書に使用している施設毎の延床面積等は、本市の備える建物台帳を基に作成しています。また、施設の延床面積は、主な建物に加え、倉庫や駐輪場等を含んでいます。このため、本市の発行する他の統計書及び年報等と数値が異なる場合があります。
- 本白書で表記している施設の建設年度は、複数の建物で構成されている場合は、原則として最も古い年度を表記しています。
- 財政状況については、原則として普通会計ベースで記述しています。
- 経費のデータについては、特に記述が無い限り、平成24年度決算の数値から作成しています。ただし、端数処理により個々の数値が合計と一致しない場合があります。また、ひとつの事業に建物の維持管理経費以外の経費が混在している場合は、明確に除外できるものは除外しています。よって事業によっては決算統計書等の数値と異なる場合があります。
- 経費のデータについては、平成24年度決算に基づいていますが、職員給与費については、資産経営課が独自に算出しています。

平塚市公共施設白書

(3) 青少年施設

a 青少年会館

本市の青少年会館は、青少年の交流と活動の拠点施設と位置付けており、青少年諸団体の主体的な活動による「自立と連帯」の意識の高揚を図るとともに、スポーツ、レクリエーション、文化、ボランティア等の活動や、青少年会館主催事業により、青少年育成の推進及び指導者育成を行っています。

青少年会館は、本館及び附属の剣道場、柔道場の3つの建物で構成していますが、共に昭和46年度に建設されています。現行の耐震基準を満たしていないため、耐震化計画で対応していきます。

表43 青少年会館施設の概要

施設名称	設置年度	延床面積(m ²)	耐震種別	耐震化状況
青少年会館	昭和46年	2,091.03	旧耐震基準	未実施

※上記延床面積は剣道場・柔道場等の関連建物の合計です。

青少年会館は、平成2年に神奈川県から取得した施設です。本市の青少年育成事業の中核を担う施設として位置付けられ、各種自主事業の他、様々な活動に利用されています。

表44 青少年会館施設の利用実績

施設名称	開館日数	利用者数
青少年会館	308	70,775

※平成24年度利用実績

表45 青少年会館施設に係る経費

(単位:千円)

支 出					
	報酬		役務費	通信運搬費	193
	給与等	3,125		手数料	106
	賃金	2,726		保険料	
	報償費			委託料	9,920
需用費	消耗品費	461		使用料及び賃借料	397
	燃料費	856		工事請負費	
	印刷製本費			原材料費	
	光熱水費	3,288		備品購入費	
	修繕料	1,441		負担金、補助金及び交付金	
	その他			合計	22,513
収 入					
	施設使用料収入				141
	その他収入				105
	収入合計				246



【青少年会館】

平塚市公共施設白書

5 産業振興施設

(1) 産業振興施設（平塚市勤労会館）

平塚市勤労会館は、働く市民の福祉施設および教養・文化の向上を目的とした施設として、昭和55年に開館しました。会館は190人収容の大会議室や、60人収容の中会議室をはじめ、小会議室が3室と和室があり、働く市民の交流の場として、会議、研修会や講習会に活用されています。また、平塚市勤労会館は、指定管理者制度を導入しています。

なお、本施設は昭和56年以前に建設されている旧耐震基準による建物です。耐震化については、耐震化計画の中で対応していきます。

表93 平塚市勤労会館の概要

施設名	建設年度	延床面積(m ²)	耐震種別	耐震化状況
平塚市勤労会館	昭和55年	1,100.55	旧耐震基準	未施工

表94 平塚市勤労会館の利用実績

施設名	開館日数	利用回数(回)	利用人数(人)
平塚市勤労会館	348	1,876	27,440

表95 平塚市勤労会館運営にかかる経費 (単位:千円)

支 出			
報酬		役 務 費	通信運搬費
給与等	3,281		手数料
賃金			保険料
報償費			委託料
			25,988
需 用 費	消耗品費		使用料及び賃借料
	燃料費		工事請負費
	印刷製本費		原材料費
	光熱水費		備品購入費
	修繕料	8,229	負担金、補助金及び交付金
その他			合計
			37,498
収 入			
施設使用料収入			130
その他収入			45
収入合計			175



【平塚市勤労会館】

平塚市公共施設白書

c 教育会館

教育会館は、本市に勤務する教職員及び教育関係者の研修会及び各種研究会等を行う拠点として、また教職員の福利厚生の場として常時使用できるように昭和55年4月に開館しました。

なお、教育会館は旧耐震基準で建設されており、耐震化計画及び「奏プラン」における重点目標「安心して学べる場の提供」による教育会館耐震補強事業に位置付けられています。耐震診断を実施した結果、一部に補修が必要との診断結果となったため、今後、耐震化への対応を進めます。

表23 教育会館の概要

施設名称	建設年度	延床面積(㎡)	耐震種別	耐震化状況
教育会館	昭和54年	1,263.01	旧耐震基準	未施工

表24 教育会館利用実績

	小・中会議室	大会議室	その他	計
件数	773	380	495	1,648
人数	11,928	32,452	9,259	53,639

※平成24年度実績

表25 教育会館施設に係る経費

(単位:千円)

支 出				
報酬		役 務 費	通信運搬費	249
給与等	4,688		手数料	18
賃金			保険料	8
報償費			委託料	13,546
需 用 費	消耗品費	170	使用料及び賃借料	68
	燃料費		工事請負費	
	印刷製本費		原材料費	
	光熱水費	2,442	備品購入費	
	修繕料	1,201	負担金、補助金及び交付金	6
その他			合計	22,396
収 入				
施設使用料収入				8
その他収入				127
収入合計				135



【教育会館】

(2) 文化・教育施設

a 図書館

平塚市中央図書館は、昭和45年4月に現在地に「平塚市図書館」として開館しました。地域の特性を生かした生涯学習充実のニーズに対応するため、平成3年以降、北図書館、西図書館、南図書館が順次開館し、現在の4館体制が完成しました。移動図書館を含んだ4館の蔵書冊数は約80万冊です。

図書館施設の耐震化対策について、中央図書館は現行の耐震基準を満たしていないため、耐震化計画に従って対応していきます。中央図書館以外の3館は新耐震基準によって建設されています。

表31 図書館施設の概要

施設名称	施設形態	併設施設	建設年度	延床面積(m ²)	耐震種別	耐震化状況
中央図書館	単独	—	昭和44年	4,883.30	旧耐震基準	未施工
北図書館	併設	神田公民館	平成2年	1,043.78	新耐震基準	—
西図書館	単独	—	平成4年	1,539.88	新耐震基準	—
南図書館	併設	南部福祉会館等	平成7年	1,125.95	新耐震基準	—
合計				8,592.91		

※表中、北図書館及び南図書館については、設置建物における専有面積です。

図書館サービスは市内の図書館だけでなく、近隣の4市2町の図書館と連携し相互利用を行っています。さらに、市内の大学図書館と交流事業を行い、大学図書館の資料を提供することが可能となるなど充実を図っています。移動図書館「あおぞら号」も定期巡回だけでなく、図書館に来館することが困難な方を対象に、平成19年から出前図書館を開始し、市内の福祉施設などで巡回サービスを実施しています。

中央図書館では、平成20年から平日金曜日のみ行っていた19時までの開館時間延長を火曜日から金曜日までの平日に拡大し、多くの方に利用される図書館を目指しています。

表32 図書館利用実績

施設名称	開館・開設日数	登録者数(人)	貸出者数(人)	個人貸出数(冊)	ブース利用(件)
中央図書館	295日	60,720	282,328	680,170	12
北図書館	296日	12,025	76,361	199,191	2,488
西図書館	296日	17,848	115,283	301,326	6,353
南図書館	294日	15,136	128,771	304,570	3,732
移動図書館	188日	5,409	11,060	31,847	—
CD・ビデオ・紙芝居等	—	—	—	169,326	—
計	—	111,138	613,803	1,686,430	12,585

※平成24年度利用実績

平塚市公共施設白書

現在の図書館は、資料の貸出だけでなく、地域資料の収集やレファレンスサービス、インターネットの普及に対応した情報提供、「ブックスタート※」などの子育て支援事業、「子ども読書活動推進フォーラム」などの読書活動の啓発事業等、多様なサービスや事業を展開しています。

中央図書館は、築40年以上が経過し、設備の老朽化が目立っていますが、今後も多様な市民ニーズに対応しながら施設の良好な維持管理に努めていきます。

※「ブックスタート」・・・ブックスタートとは、地域のすべての赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を手渡す運動。

表33 図書館施設に係る経費

(単位:千円)

支 出				
報酬		役 務 費	通信運搬費	1,271
給与等	168,909		手数料	99
賃金	57,138		保険料	143
報償費	569		委託料	51,253
需 用 費	消耗品費	10,941	使用料及び賃借料	24,242
	燃料費	2,524	工事請負費	0
	印刷製本費	528	原材料費	0
	光熱水費	13,312	備品購入費	40,037
	修繕料	11,896	負担金、補助金及び交付金	149
その他			合計	383,011
収 入				
施設使用料収入				9
その他収入				1,205
収入合計				1,214



【中央図書館】



【北図書館】



【西図書館】



【南図書館】

平塚市公共施設白書

2 生涯学習施設

(1) 社会教育施設（中央公民館・地区公民館）

現在、社会教育法第24条の規定に基づき、中央公民館及び25館の地区公民館が設置されています。各公民館は、公民館運営委員との密接な連携のもと、活発に地域の社会教育活動を展開しており、社会教育・生涯学習活動や地域活動の拠点として、さまざまな学習機会を提供するとともに、地域の団体やグループ活動の場として広く利用されています。

なお、公民館は、地域の特性を生かした活動として、各公民館が単独で行う事業のほか、ブロック単位で行う事業を展開しています。

表26 公民館施設一覧表(延床面積及び所属ブロック)

施設名称	建設年度	延床面積(㎡)	ブロック	施設名称	建設年度	延床面積(㎡)	ブロック
中央公民館	昭和57年	6,722.15	—	神田公民館 Ⅱ	平成2年	1,781.06	北
崇善公民館	昭和24年	603.29	南	横内公民館	昭和48年	394.59	
須賀公民館	昭和56年	599.90		大神公民館	昭和63年	1,000.18	
松原公民館	昭和58年	585.52		岡崎公民館	昭和62年	618.36	
富士見公民館	昭和61年	699.48		豊田公民館	昭和47年	403.28	
花水公民館 Ⅱ	昭和60年	1,875.14		城島公民館	平成8年	834.31	
なでしこ公民館	平成5年	717.55		金目公民館 Ⅱ	平成元年	1,911.50	
大野公民館	昭和45年	503.00		東	金田公民館 Ⅱ	昭和60年	1,625.34
八幡公民館	昭和52年	480.72	土屋公民館		平成15年	772.54	
四之宮公民館	昭和55年	601.96	吉沢公民館		昭和39年	550.97	
中原公民館	平成21年	947.85	旭南公民館 Ⅱ		平成3年	2,182.66	
松が丘公民館	昭和59年	545.67	旭北公民館		昭和57年	1,083.83	
大原公民館	平成11年	833.93	26館合計		—	29,321.17	
南原公民館	昭和53年	446.39					

※施設名称にⅡ印がついているものは附属体育館を含んだ延床面積です。

※神田公民館は北図書館部分を除いた延床面積です。



図32 地区公民館担当エリア及びブロック構成

平塚市公共施設白書

本市では、市民の生涯学習等に資するため、各地区公民館の整備に努めてきました。現在の施設で最も古いものは崇善公民館の一部の施設で、昭和24年度に平塚市の議事堂として建設され、昭和39年度に公民館として改修整備されました。また、最も新しいものは平成21年度に整備された中原公民館です。



【崇善公民館】



【中原公民館】

公民館の各種事業について、中央公民館では、生涯学習の充実や市民のための継続的・専門的な学習機会の提供を目的とした市民大学講座や、芸術・文化に関する知識・技能を習得することによる市民生活の充実を目指した市民アカデミー等の事業を行っています。また、各地区公民館においては、小中学生を対象とした児童・生徒地域参加事業、60歳以上の市民を対象とした高齢者学級の他、地域文化の発展を目的とした公民館まつり等の活動を行っています。

耐震化への対応については、平塚市公共建築物耐震化計画及び「奏プラン」における重点目標「安心して学べる場の提供」による地区公民館整備事業に位置付けられており、順次対応しています。現在、公民館施設の耐震化率は92パーセントです。

表27 公民館施設耐震化状況一覧

施設名称	耐震種別	耐震化状況	施設名称	耐震種別	耐震化状況
中央公民館	旧耐震基準	未施工	神田公民館	新耐震基準	—
崇善公民館	旧耐震基準	建替予定	横内公民館	旧耐震基準	耐震不要
須賀公民館	旧耐震基準	耐震不要	大神公民館	新耐震基準	—
松原公民館	新耐震基準	—	岡崎公民館	新耐震基準	—
富士見公民館	新耐震基準	—	豊田公民館	旧耐震基準	耐震不要
花水公民館	新耐震基準	—	城島公民館	新耐震基準	—
なでしこ公民館	新耐震基準	—	金目公民館	新耐震基準	—
大野公民館	旧耐震基準	建替	金田公民館	新耐震基準	—
八幡公民館	旧耐震基準	耐震不要	土屋公民館	新耐震基準	—
四之宮公民館	旧耐震基準	耐震不要	吉沢公民館	旧耐震基準	未実施
中原公民館	新耐震基準	—	旭南公民館	新耐震基準	—
松が丘公民館	新耐震基準	—	旭北公民館	新耐震基準	—
大原公民館	新耐震基準	—	公民館耐震化率		92%
南原公民館	旧耐震基準	耐震不要			

平塚市公共施設白書

表28 中央公民館利用実績

中央公民館			
大ホール			
開館日数	ホール開館日数	利用件数	利用人数
310日	211日	261件	75,135人
市民ギャラリー		109件	10,918人
小ホール・会議室等		6,114件	78,785人
その他		155件	2,576人

表29 地区公民館利用実績

施設名称	利用回数	利用人数	施設名称	利用回数	利用人数
崇善公民館	2,557	30,569	神田公民館	3,952	65,195
須賀公民館	2,087	29,303	横内公民館	2,052	28,777
松原公民館	2,345	29,335	大神公民館	2,075	25,313
富士見公民館	3,442	41,244	岡崎公民館	2,936	42,540
花水公民館	5,395	85,542	豊田公民館	1,566	18,931
なでしこ公民館	2,978	38,758	城島公民館	2,060	23,166
大野公民館	2,397	31,533	金目公民館	4,081	55,885
八幡公民館	1,834	17,422	金田公民館	3,441	60,902
四之宮公民館	1,790	21,787	土屋公民館	1,460	18,807
中原公民館	2,596	30,831	吉沢公民館	1,544	22,328
松が丘公民館	2,672	27,137	旭南公民館	5,405	88,008
大原公民館	2,140	23,540	旭北公民館	4,465	58,426
南原公民館	1,994	21,543	計	69,264	936,822

表30 公民館施設に係る経費

(単位:千円)

支 出					
	報酬	17,430	役員	通信運搬費	2,559
	給与等	112,247	業務	手数料	656
	賃金	18,264	費	保険料	395
	報償費	0		委託料	215,147
需 用 費	消耗品費	7,977		使用料及び賃借料	6,598
	燃料費	1,150		工事請負費	0
	印刷製本費	0		原材料費	84
	光熱水費	58,456		備品購入費	751
	修繕料	31,851		負担金、補助金及び交付金	362
	その他	0		合計	473,927
収 入					
	施設使用料収入			19,543	
	その他収入			1,201	
	収入合計			20,744	